

令和7年度 川北小学校 学校経営方針

1. 教育目標 「進んで学び高め合い、心豊かに生き抜く川北っ子の育成」

2. めざす児童像（川北っ子像）

- か・・・かんがえる子 ○自ら考え、学び合い、高め合う子
- わ・・・わざをみがく子 ○自分の良さを知り、知性と技能を高める子
- き・・・きれいな心の子 ○きれいな心をもち、人を思いやり、助け合える子
- た・・・たくましい子 ○運動に親しみ、たくましい体をそなえた子

3. めざす学校像

みんなで創る みんなが幸せな学校

- (1) 一人ひとりのよさが生き生きと発揮できる学校
- (2) 安心して生活できる学校
- (3) 学ぶことが楽しいと思える学校
- (4) 地域社会や保護者に信頼され、応援したくなる学校

4. めざす教師像

- (1) 子ども一人ひとりのよさを認め、気持ちをわかろうとする教師
- (2) 授業で子どもの力を高める教師
- (3) 向上心を持つ教師
- (4) 地域社会や保護者を大切にする教師

5. 努力目標

(1)組織的な学校運営

- ①学力向上ロードマップに基づく組織的実践と学校評価を生かした体制の充実
 - ・ 目標達成に向けて、主任を中心とした取組、連携した取組や教育活動の実施
 - P（共通理解）D（共通実践）C（的確な検証）A（具体的な改善策と実施）
- ②協働して学び続ける教師集団「チーム学校川北」と人材育成
 - ・ 高い危機管理意識と安全安心な学校づくり
 - 迅速な対応 報告・連絡・相談（いじめ、不登校の未然防止、早期発見、早期解決）
 - ・ 若プロ・OJT の充実
- ③業務改善の推進 目的「何のために？」と効果を考えた業務の精選

(2)すすんで学びに向かう子の育成（かんがえる子・わざをみがく子）

- ①主体的に学ぶ児童の育成
 - ・ 学びの楽しさを味わう授業「わかった！」「できた！」「もっと考えたい！」
 - ・ 見方、考え方をはたらかせた児童の姿を明確にした確かな教材研究、単元構想
 - ・ 子どもに委ねる場面 ICT 活用の方場の設定

②対話的で深い学びの実現

- ・考えを広げる、深める場の教師の関わり
- ・「わからない」「教えて」が言える学習集団

③基礎基本の定着

- ・つきたい力を明確にした授業実践
- ・パワーアップタイムの有効活用
- ・家庭と連携した学習習慣の確立

(3)豊かな心の育成（きれいな心の子）

①幸せな学校、学級づくり、安心、安全なあたたかい学級づくり

- ・生徒指導の4つの視点を生かした積極的な生徒指導
- ・他者理解、互いのよさや頑張りを認め合う風土

・自己存在感
・共感的な人間関係
・自己決定
・安全安心な風土

②学校研究、道徳授業の充実

- ・教育活動全般での道徳性の育成
- ・重点目標の意識化

③児童会活動、縦割り活動による、主体性・協働性の育成と温かな人間関係づくり

④学校行事への主体的な関わり

- ・自分の成長の自覚、仲間の成長を認める

⑤明るいあいさつや思いやりのある言葉遣い

(4)健やかな体の育成（たくましい子）

①体力の向上

- ・スポチャレ 1校1プラン
- ・目標に向かって主体的に体力づくりに取り組む児童の育成

②基本的な生活習慣の確立

- ・家庭との連携、十分な睡眠やメディアとの付き合い方（啓発・取組）

(5)家庭地域との連携（信頼され、応援される学校）

①地域人材の活用等によるキャリア教育の充実

- ・積極的なGTの招聘
- ・地域人材を生かしたふるさと教育の推進
- ・家庭、地域との連携の推進

②情報の収集と発信の充実

- ・学校評価委員会のご意見による学校改善の推進
- ・積極的な情報の発信

<令和7年度の重点>

- ・道徳授業の充実
- ・対話を大切にした授業、学級、学校づくり
- ・みんなで学びみんなで実践する！